反対の意味の慣用句プリント④

2つの慣用句の関係を見分けよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

反対の意味とは、同じことについて、向きが反対になっている意味のことです。

①問ごとに、枠の中の2つの慣用句の関係を、下のア～ウから一つ選び、①のわくに記号を書きましょう。

②つぎに、①でア・イを選んだ問題だけ、2つが何についての話かを、その問の「つかうことば」を入れて「～かどうか」の形で右のわくに書きましょう。上の「れい」のとおりに書きます。ウの問題は、②を書きません。

れい **手綱を引く** と **手綱を緩める**

手綱を引く＝厳しく管理して、勢いをおさえる　　手綱を緩める＝少し自由にさせる

① ア 反対の意味

② 何についての話？ → きびしく管理するかどうか （つかうことば：管理）

問1 **骨身を惜しまず** と **身を粉にする**

＝つかれや苦労を気にせず、ひたすら働く　　＝ある物事のために、苦労をいやがらずけんめいに働く

① ［　］ ア 反対の意味　イ 同じ向きの意味　ウ 反対ではない（ちがうことの話）

② つかうことば **働く** →

問2 **気骨がある** と **顰みに倣う**

＝自分の考えを曲げない、強い心がある　　＝よいか悪いかを考えず、人のまねをする

① ［　］ ア 反対の意味　イ 同じ向きの意味　ウ 反対ではない（ちがうことの話）

② つかうことば **考え** →

問3 **血が騒ぐ** と **血も涙もない**

＝わくわくして、じっとしていられない　　＝思いやりがまったくなく、つめたい

① ［　］ ア 反対の意味　イ 同じ向きの意味　ウ 反対ではない（ちがうことの話）

② つかうことば **わくわく** →

問4 **気に留める** と **心に刻む**

＝気をつけて、心にとどめておく　　＝わすれないように、心に深くきざむ

① ［　］ ア 反対の意味　イ 同じ向きの意味　ウ 反対ではない（ちがうことの話）

② つかうことば **心** →

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

反対の意味の慣用句プリント④【こたえ】

2つの慣用句の関係を見分けよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

反対の意味とは、同じことについて、向きが反対になっている意味のことです。
①問ごとに、枠の中の2つの慣用句の関係を、下のア～ウから一つ選び、①のわくに記号を書きましょう。
②つぎに、①でア・イを選んだ問題だけ、2つが何についての話かを、その問の「つかうことば」を入れて「～かどうか」の形で右のわくに書きましょう。上の「れい」のとおりに書きます。ウの問題は、②を書きません。

れい 手綱を引く と 手綱を緩める

手綱を引く＝厳しく管理して、勢いをおさえる　　手綱を緩める＝少し自由にさせる

① ア 反対の意味

② 何についての話？ → きびしく管理するかどうか （つかうことば：管理）

問1 骨身を惜しまず と 身を粉にする

＝つかれや苦労を気にせず、ひたすら働く　　＝ある物事のために、苦労をいやがらずけんめいに働く

① イ　ア 反対の意味　イ 同じ向きの意味　ウ 反対ではない（ちがうことの話）

② つかうことば 働く → 苦労をいやがらずに働くかどうか

どちらも「苦労をいやがらず働く」で、向きが同じ

問2 気骨がある と 顰みに倣う

＝自分の考えを曲げない、強い心がある　　＝よいか悪いかを考えず、人のまねをする

① ア　ア 反対の意味　イ 同じ向きの意味　ウ 反対ではない（ちがうことの話）

② つかうことば 考え → 自分の考えをもって動くかどうか

「自分の考えをもつ」と「人のまねをする」で、向きが反対

問3 血が騒ぐ と 血も涙もない

＝わくわくして、じっとしていられない　　＝思いやりがまったくなく、つめたい

① ウ　ア 反対の意味　イ 同じ向きの意味　ウ 反対ではない（ちがうことの話）

② つかうことば わくわく → 書かない

「気持ちの高ぶり」と「思いやりのなさ」で話がちがう。同じ字（血）や、熱い・つめたいの感じでも反対ではない

問4 気に留める と 心に刻む

＝気をつけて、心にとどめておく　　＝わすれないように、心に深くきざむ

① イ　ア 反対の意味　イ 同じ向きの意味　ウ 反対ではない（ちがうことの話）

② つかうことば 心 → 心にとどめておくかどうか

どちらも「心にとどめる」で、向きが同じ

丸つけ：②の答えは一例。□「つかうことば」が入っている　□「～かどうか」の形　□意味が合っていれば○（ウの問題は②を書かない）